

然れども此の一節は唐書に基ける圖書集成邊裔典突厥部彙考の記事の上に、同じく唐書の回鶻傳の記事を挿入し、然も其の年代の判断を誤りたるものにして、多くの誤謬を有するものなりとす、唐書突厥傳には既に一部分前に引けるが如く

默啜討九姓戰磧北、九姓潰人畜皆死、思結等部來降、帝悉官之、……默啜又討九姓拔野古、戰獨樂河、拔野古大敗、默啜輕歸不爲備、道大林中、拔曳固殘衆突出、擊默啜斬之、乃與入蕃使郝靈佺、傳首京師、骨咄祿子闕特勒合故部、攻殺小可汗及宗族殆盡、立其兄默棘連、是爲毗伽可汗

と見ゆ、Marguart氏は此等の事件を以て皆默啜の末年即ち開元四年のことと見たれども、此の中默啜が九姓を磧北に擊破し、爲に思結等の部の唐に來歸するに至りしは、開元三年秋の事件にして、「默啜又討九姓拔野古、戰獨樂河」以下は開元四年六月の事件なること、通典・舊唐書・冊府元龜等によりて前に述べたるが如し、されば此の記事は此等兩年に亘れることを一續きに書きたるものにして、その開元三年秋の事件は默棘連可汗の三十三歳の初めが同年秋に在るかも知れずとの考を立てたる後に於て、初めて兩史料の比較研究に資し得べきのみ。また(1)の記號を附したる回鶻・契苾・思結・渾の四部が磧を度りて甘・涼二州の地方に徙りしことは、邊裔典突厥部彙考にも載せざる所にして、實は唐書回鶻傳に

武后時默啜方疆、取鐵勒故地、故回紇與契苾・思結・渾三部度磧徙甘涼間、然唐常取其壯騎、佐赤水軍云とあるより、突厥傳に思結等部來降と記せるは、即ち此の廻紇・契苾・思結・渾の四部が、甘涼地方に徙りし事實なりと見たるものなるべけれど、此の如きは回鶻傳に「武后時」と特に時代を掲げたるを無視したるものにして、